

氾濫シミュレーション操作訓練等を実施しました。

【訓練・講話の背景と概要】

南海トラフ巨大地震を想定した広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え、「南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会」の構成機関が相互の緊密かつ有機的な連携、協力の下、総合的な防災訓練を実施することにより、迅速かつ的確な応急活動のための連携体制の確立、防災力の向上を図ることを目的に平成25年2月7日に中部地整管内では訓練が実施されました。

越美山系砂防事務所では、上記訓練と連携し、技術系職員を対象とした、南海トラフ巨大地震に起因する天然ダムが発生したと想定し、緊急調査の実施結果を基に、公表用の氾濫シミュレーションを行うパソコンの操作訓練と、全職員を対象に、元国土交通省砂防部保全課長として中越地震などで大規模土砂災害対応の陣頭指揮を執られた経験を基とした坂口理事の講話を実施しました。

場 所：越美山系砂防事務所 2階会議室

日 時：平成25年2月7日(木) 13:00～17:00

内 容：一部 技術系職員対象 氾濫シミュレーション操作訓練
二部 全職員対象 講話「河道閉塞対策とその実例」



講話「河道閉塞とその実例」の16名が聴講しました。



講話：砂防フロントア
坂口理事



講話後の活発な質疑応答状況



氾濫シミュレーションソフト(QUAD-L)の操作訓練
(技術系職員 9名が受講)



技術系職員が個別クライアントPCで訓練実施



全員が氾濫シミュレーションを操作することが出来るよう
になりました。(上図は当日の成果)